

インターネット、もっと使いやすく  
**BUFFALO**



# MELCO GROUP SEMIANNUAL REPORT 2004

ホームネットワークのデファクトスタンダードへ

メルコグループ



## ブロードバンド時代の リーディングカンパニーの一翼として…



株式会社メルコホールディングス  
代表取締役社長 牧 誠

### 持株会社体制スタート

2003年10月1日、メルコグループは、持株会社体制に移行しました。今後、メルコグループはホームネットワークの進展とともに、パソコン周辺機器、ブロードバンド関連製品に加え、多様化する新たな製品群を提供していくことになります。

また、同時に株式会社メルコは、株式会社バッファローと社名を変えブランド名と社名を統一しました。これまでユーザの皆様にも名付けられ、育てられた

「BUFFALO」というブランド名を社名にし、より分かり易くすることで一層のブランド価値向上を図ります。

メルコグループは、上場会社である株式会社メルコホールディングスを純粋持株会社とし、BUFFALOブランドを中心に、継続的な成長と収益の拡大を通じてグループ全体の企業価値の最大化を目指してなお一層の努力をまいります。

### 市場の成長を見据え、継続的な収益拡大を展開

メルコグループは、このブロードバンド時代の到来を見据え、業界に先駆けて無線LAN製品を市場に投入してきました。家庭内で、いつでもどこでもインターネットに接続できる無線LANの利便性は多くのユ

ーザの皆様にも支持され、2003年8月には累計出荷台数300万台を達成しました。

日本のブロードバンド回線(注1)はすでに1千万回線を超え、社会インフラのひとつになろうとしていま

す。また、高速な回線である光回線( FTTH )の増加や、ADSL回線自体の高速化など、伝達できる情報量も加速度的に大きくなってきています。こうした回線の高速化に対し、メルコグループはいち早く高速タイプの新型無線 LAN 製品を投入し、無線 LAN のトップブランドの地位をさらに強固にすることができました。BCN 社の調査では2003年上半期の店頭市場のシェアを昨年に比べ8.7ポイント向上させ57.3%と大きなシェアを獲得しました。さらに、ホームネットワークの市場に対し、ネットワーク接続のハードディスク装置( LinkStation )を拡販しました。これにより、これまでインターネットの利用が中心であったホームネットワークで、さまざまなデータの共有が容易になり、LinkStation は、当中間期のヒット商品となりました。

また、近年TVチューナ付のパソコンが多く販売され、ユーザがパソコンでTV番組などの動画を利用す

るケースが増えています。動画データの記録には大変大きな記憶容量を必要とします。例えば、標準画質の映像を約1時間分記録するためには約1.2ギガバイト必要になりますが、この記憶容量はフロッピーディスク1200枚分に相当します。こうした大容量の記憶装置に対するニーズが高まってきたためDVDライターやハードディスク装置などストレージ製品の市場が拡大しました。

メモリ製品では従来のフロッピーディスクに代わる新しい携帯用記憶メディアとしてUSBフラッシュディスクが大きな市場に成長しました。

このように当中間期のメルコグループの状況は、成長分野である無線LAN製品を中心としたブロードバンド関連製品が順調に拡大するとともに、メモリ・ストレージそれぞれの製品分野で、売上高が前年に比べ大幅に増加しました。

注1)高速インターネット回線：ADSL, CATV, FTTHなど

## ネットワーク家電関連分野に進出

複数のパソコンでインターネットを利用することから始まったホームネットワークは、パソコンで録画した映像を他のパソコンや居間にある大型テレビで見るなど、様々な活用方法が生まれてきました。また、2003年12月からは、地上波デジタル放送が開始されますが、その特徴の一つに双方向通信があります。この受信機も、インターネット回線を利用するため、さらにホームネットワークのユーザが増加することが見込まれます。また、インターネットに接続し、状況の確認やコントロールのできる「ネットワーク家電」が登場し始めて

います。今後、外出先から録画予約のできるビデオやスイッチの入れられるエアコンなど、便利な「ネットワーク家電」は急速に増加、普及していくと考えられます。ネットワーク家電は家庭内の各部屋に置かれるため、配線工事が不要な無線LANはますます必要性が高まってきます。

一方、ホームネットワークの普及のためには、人々のプライバシーを守る、高度な暗号化技術(セキュリティ機能)と、誰でも簡単に扱える操作性が必要になります。これまでセキュリティの高度化は、設定の複雑

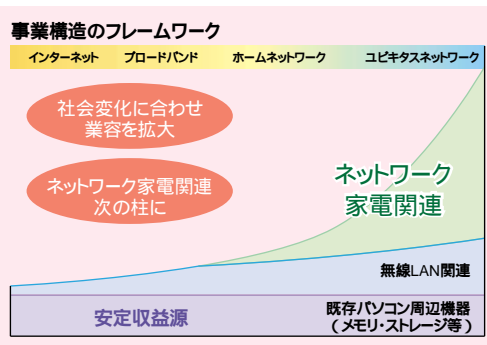
化を招き、操作を簡単にするとは相容れないものと考えられてきました。

このような問題に対し、メルコグループは、パソコンはもとより「ネットワーク家電」もボタンを押すだけで、高度なセキュリティを施した無線LANの接続を可能にする画期的な新技術「A.O.S.S(注2)」(特許申請済)を開発しました。この新技術により、無線LAN製品の普及が加速されるとともに、ネットワーク家電市場の拡大に大きく貢献できると考えています。

メルコグループのビジネスは、家電メーカーへの「A.O.S.S」と無線LANモジュールのセット販売から、複数の家電メーカーにわたるネットワーク上のサポートなど多岐にわたります。これによりネットワーク家電メーカーにとっては開発コストやサポートコストの低減、対象ユーザ層の拡大など多くのメリットがあります。

パソコンのユーザ数に比べて家電製品のユーザ数は格段に大きく、メルコグループは、家電製品のネットワーク化を促進させることで、この「ネットワーク家電関連分野」の新事業を次の時代の大きな柱に育てたいと考えています。

注2)A.O.S.S ( AirStation One-Touch Secure System )



## A.O.S.Sが簡単にホームネットワークの無線化を実現

「AirStation One-Touch Secure System(A.O.S.S)」は、無線LANの接続設定を飛躍的に簡単にする新技術です。家電製品をボタンを押すだけのワンタッチ操作で無線LANに接続可能。難しい設定やセキュリティ機能はA.O.S.Sが自動的に設定します。

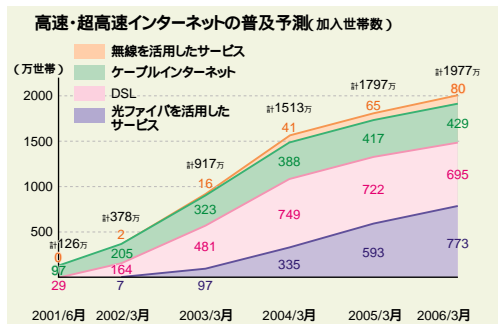


## ブロードバンドは普及の段階から活用の段階へ… 広がるホームネットワーク

### 急速に普及するブロードバンド

今年、1000万世帯を突破した日本のブロードバンド利用世帯数は、2006年3月には約2000万世帯に達すると予測されています。一般家庭に高速で定額料金のブロードバンド回線が届くようになると、様々な新しいサービスがインターネットを通して利用できるようになります。自宅に居ながらにしてインターネット経由で映画やコンサートを楽しんだり、インターネット経由で離れた所に居る相手と対戦する「オンラインゲーム」など、家族全員にとってインターネットの楽しみ方が増えてきました。今後、このようなエンタテインメントの利用方法はさらに広がり、ブロードバ

ンドの利用者がまた一段と増加することが予測されます。



出所：総務省 全国ブロードバンド構想

### ホームネットワーク時代の到来

家庭内のどの部屋からもインターネットに接続するためには、ネットワークが必要です。ブロードバンド回線が1本でも、ネットワークがあれば、家族全員がいつでも好きなだけインターネットを楽しむことができます。しかし、ケーブルを配線するのはとても面倒です。壁に穴を開けたり1階から2階までケーブルを配線するには工事費もかかります。そこで注目を集めているのが無線LANです。無線LANはケーブルを必要としないので、どの部屋からも、あるいは部屋のどこからでもインターネットに接続できます。ノートパソコンを片手に、冬はコタツに入ってインターネット、夏は庭の木陰でインターネットも良いでしょう。無線LANは利便性の上でも、経済性の上でもホームネットワ

ークの主役です。

ホームネットワークの使い道は、インターネットだけではありません。TVチューナの付いたパソコンで録画した番組や、デジタルカメラで撮った写真などをネットワーク接続のハードディスク装置に保存しておけば、どの部屋からも自由に見ることができます。パソコンの電源が入っていないくても、外出先から取り出すことも可能です。

また、パソコンやネットワーク接続のハードディスクに保存してある映画や写真を居間にあるテレビやホームシアターに映すための装置もすでに販売されており、映像データはホームネットワークですでに利用され始めています。



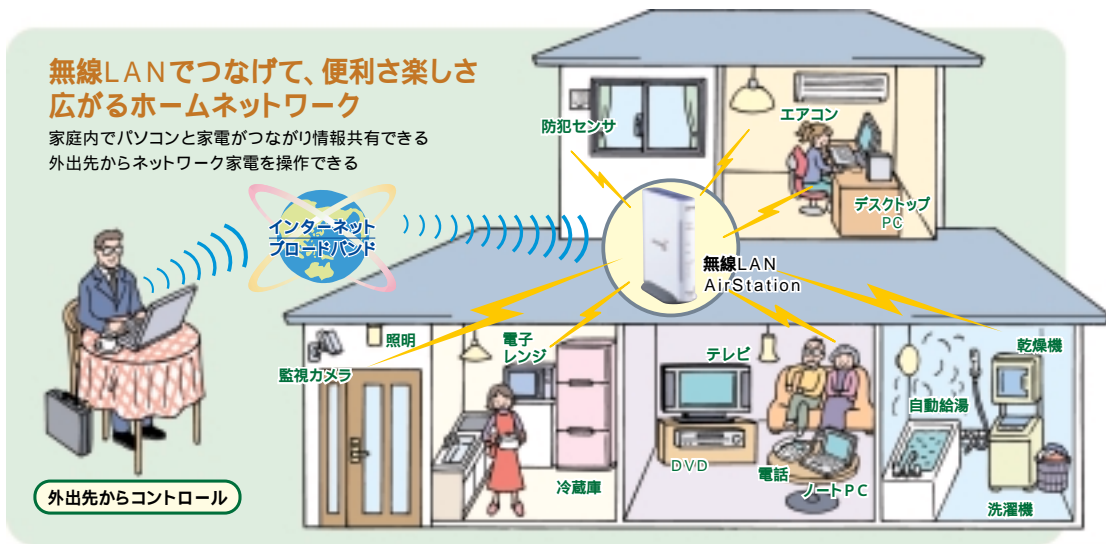
## ホームネットワークとネットワーク家電

2003年12月から3大都市圏の一部で地上波デジタル放送が開始されます。2006年までに全国でデジタル放送が始まり、2011年には放送はすべてデジタル化されます。この地上波デジタル放送の特徴の一つに双方向通信があります。テレビはインターネットに接続され、放送中のクイズ番組に参加したり、テレビショッピングの番組では直接注文ができるようになるでしょう。こうしたネットワークに接続できる家電を「ネットワーク家電」といいます。将来、ホームネットワークには、テレビやビデオなどの映像系の家電だけでなく、エアコンや冷蔵庫のような家電も接続されるようになります。

外出先から録画予約をしたり、冷蔵庫の中身を調べて買い物をしたり、帰宅前にはエアコンのスイッチを入れておくのも良いでしょう。考えればキリが無いほど楽しく

便利な生活が想像できます。しかし、現実には一度にこうした住宅が作られるわけではありません。一般の家庭には、まずパソコンを中心としホームネットワークが普及し、テレビやその他の家電を買い換えるたびに、ネットワーク家電に切り替えていき、何年もかけてホームネットワーク住宅が完成します。この間のケーブル配線を考えると、無線LANはネットワーク家電の普及の鍵を握っているといえます。

メルコグループは、ホームネットワークの要となる無線LANのさらなる普及活動と、ホームネットワークをより使いやすくなるための関連機器やソリューションの提案を通じ、ネットワーク社会へこれからも意欲的に貢献してまいります。



## メルコの原点は「ユーザーニーズの具現化」 それを実践していく技術力…

### 世界標準規格を策定

現在、世界中で出荷されているパソコンのほとんどでDDR(注1)型と呼ばれるメモリモジュール(注2)が使われています。これらのメモリモジュールの標準規格を策定しているJEDEC(注3)の標準規格に、パツファローの基板設計が採用されています。現在パツファローでは、すでに次のステップとしてDDR ノートパソコン用メモリモジュールの標準規格策定には関わっています。パツファローのJEDECでの活動は、メモリモジュールの設計のほか、試作段階のシミュレーション、マザーボードメーカー各社との共同の動作評価、高性能なテスターを使用した実測による検証など、広範囲なものに及んでいます。

メモリのトップブランドとして、今後も世界中のパソコン

メーカーから採用される次世代メモリの世界標準規格の普及を目指します。



現在、開発の進められている次世代DDR ノートパソコン用メモリモジュール

注1)DDR

「Double Data Rate」の略で、従来のSDRAMのデータ転送速度を倍速化する技術を利用したDRAMの品種。

注2)メモリモジュール

実際にパソコンなどでメモリを使用する際には、DRAMを基板上に配しメモリモジュールと呼ぶ部品にする必要があります。DRAMの種類や信号ピンの数や形状によりたくさんの種類があります。

注3)JEDEC

「Joint Electron Device Engineering Council」の略で電子部品の標準化を推進する世界的業界団体。

### 世界標準機として無線LAN AirStationシリーズ

パツファローの無線LAN AirStation「WLI-CB-G54」は、高速無線LAN標準規格IEEE802.11gにおいて国内で初めて「Wi-Fi®」認定を受けるとともに、認証テスト機器(基準製品)として正式に採用されました。

これにより「WLI-CB-G54」が世界標準機として、今後Wi-Fiアライアンスにおいて世界各地で続々と始められる「Wi-Fi®」認定作業に使用されることになり、他社製IEEE802.11g製品が「Wi-Fi®」認定を受けるためには、「WLI-CB-G54」などとの接続互換性テストに合格する必要があります。このような製品は国内で唯一であり

で、同製品をお持ちの方はもちろん、導入を検討されている方にも、より高い信頼性を提供することが可能となりました。

無線LAN製品のパイオニアとして、常に業界をリードしてきたパツファロー。これからも、どこよりもいち早く高信頼な製品をお届けしてまいります。



「WLI-CB-G54」

「Wi-Fi® CERTIFIED」

## 持株会社へ移行 メルコグループの次の飛躍へのチャンス

### メルコは次の成長段階へ

ホームネットワークの普及によって、人々の生活様式が変わろうとしています。家庭内では無線LANのようなネットワークが使われ、そこにはテレビを始めパソコンとは違った製品も続々と接続されていきます。これは、メルコグループにとってはこれまでのパソコンという枠組を超えた新しく大きなユーザー層を獲得する飛躍へのチャンスとなります。ユーザー層が拡大すると、多くのニーズを持ったユーザーが増加し、ユーザーがメカあるいは製品ブランドに期待するものが多様化するということでもあります。

メルコグループはこれまで、「BUFFALO」という単一の製品ブランドにより成長してきました。しかし、このよう

に多様化するユーザーニーズに対しては、マルチブランド体制への脱皮が必要だと考えます。これにより、BUFFALO製品とは違った体系の製品やサポートの方法、あるいは新しい販路など、今までとは違った展開が可能になると考えています。

メルコグループは2003年10月1日、持株会社体制に移行しました。しかし、体制の構築は始まったばかりです。今後、ネットワーク家電関連分野を始めとする新事業の開拓や事業の分社化、新会社の設立、異業種との提携など、新たなグループの成長段階に進みたいと考えています。

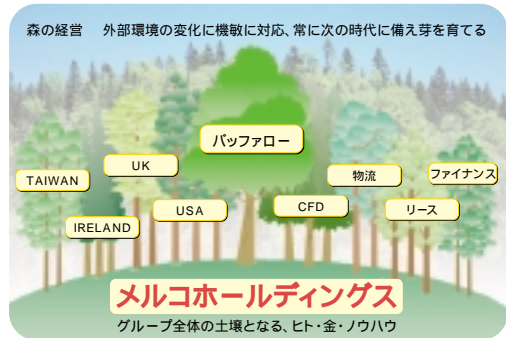
### 森の経営

この純粋持株会社体制への移行の長期的な狙いは、大きな市場の変化に対し、これまで以上に迅速に対応できる経営体制を構築し、継続的な成長と収益の拡大を通じて企業価値の増大を図るグループ経営を行うことにあります。

これは、今までの単一の急成長型企業から複合的な長期成長企業群としての経営形態への移行を目指したもので、グループの経営をその生命力になぞらえ、森をイメージしたものにしていきたいと思います。森の木々は一つ一つ独立していますが、その集合体で森を形成しています。例えば1本が朽ち果ててもそれを補完する木々が育ち、依然として森を形作っています。このように、それぞれが小さな組織でも全体としては、大きな力を柔軟に発揮できる、これがメルコグループの目指す「森の経営」であり

ます。

今後、メルコグループは、その存在意義を確かなものに保ち続け、何世紀にもわたり全てのステークホルダー(関係者)の皆様のために、メルコグループの存在価値を高めていくことを目指します。





### ホームネットワーク時代に向けて無線LAN製品を拡充 いつ、どこでも情報共有できる社会を実現する

バッファローの無線LAN「AirStation」が2003年8月に累計出荷台数300万台を達成しました。バッファローはワイヤレスネットワークの可能性に早くから注目し、1999年に無線LAN市場に参入後はブロードバンドに対応する新製品を次々と発売し、トップメカとして常に市場をリードしてきました。インターネットが社会的インフラとなりつつある現在、ブロードバンドの普及により無線LANの重要性はますます高まっています。家庭では複数のパソコンがある環境において、AirStationは1本のインターネット回線を家族で共有することを手軽に実現します。出荷台数300万台の実績は、無線LANによるソリューション提案が、企業ユーザに加え一般家庭にも広く導入された結果であると自負しております。

バッファローは2003年9月には無線LANの高機能モデルとして新デザインを採用した「AirStation G54」シリーズを発売しました。同製品は高速無線通信規格IEEE802.11gに対応し、24MbpsADSL回線や高速CATV・インターネット、さらに高速な光ファイバー通信回線（FTTH）の環境において、インターネットをより便利で快

適に利用できる無線ブロードバンドルータです。無線LANで危惧されるセキュリティ面では、無線LANセキュリティ規格WPAに採用されている高度な暗号化方式に対応し、強固な安全対策を施しています。この新モデルは財団法人日本産業デザイン振興会の2003年度グッドデザイン賞を受賞しました。高度な機能に加え、縦置き・横置きのどちらにも対応した柔軟な設置ができるなど多機能性が評価されました。

近い将来にパソコンだけでなくテレビやエアコン・冷蔵庫などの家電をつなげるホームネットワーク時代がやってきます。メルコグループはパソコン関連と家電を融合するネットワーク接続に、AirStationで培った無線LAN技術で応えていきます。一方、家庭内だけでなく外出先などの公衆エリアでも手軽にインターネットを利用できる無線スポットサービス「FREESPOT（フリースポット）」の拡充にも努めています。メルコグループはいつでも、どこでも情報を取り出したり送信したりできるユビキタス社会の実現に向けてソリューションを提案してまいります。



アクセスポイント

新型無線LAN AirStation G54シリーズ

縦置き・横置きどちらでも設置可能



アクセスポイント



無線LANカード

AirStationシリーズ



無線インターネットサービス

PCでTV鑑賞・録画できるキャプチャボードを発売  
手軽にホームエンタテインメントを実現する

バッファローはパソコンとテレビを融合するマルチメディア製品「PCast」シリーズとして、TVキャプチャボード「PC-MV3DX/PCI」を発売しました。同ボードをパソコンに取り付けると、手軽にパソコンでテレビを見たり、ハードディスクに録画できるようになります。インターネットに接続されているパソコンならばWebサイトの番組表からワンタッチで簡単にテレビ番組を録画できます。さらに、外出先から携帯電話やパソコンを操作して、インターネット経由による録画の予約や、ビデオカメラの映像をパソコンに取り込むことができます。

また、LAN接続ハードディスクの高機能モデル「LinkStation HD-HLAN」に、テレビ番組を保存すると家族みんなでデータ共用できます。パソコンとテレビ・周辺機器を家庭内でネットワーク接続すると、居間のテレビで家族揃って録画した映画を見たり、パソコンでは台所で料理番組を視聴したり、子供部屋で教育番組を再生するといった様々な使い方ができます。LinkStationはテレビ番組を始め、デジタルカメラの写真や運動会のビデオなど大容量のデジタルデータを保存できます。これらのデータを家族で共有し、各自のパソコンで編集したり、家族皆で再生して楽しむといったホームエンタテインメントを実現します。



TVキャプチャボード

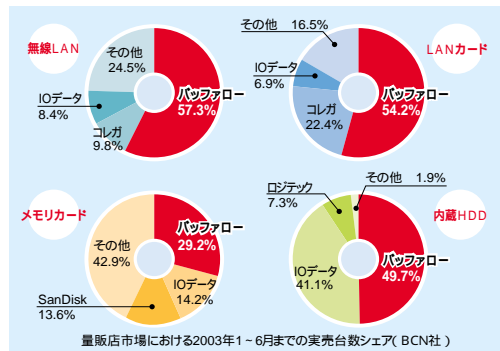


LAN接続ハードディスク

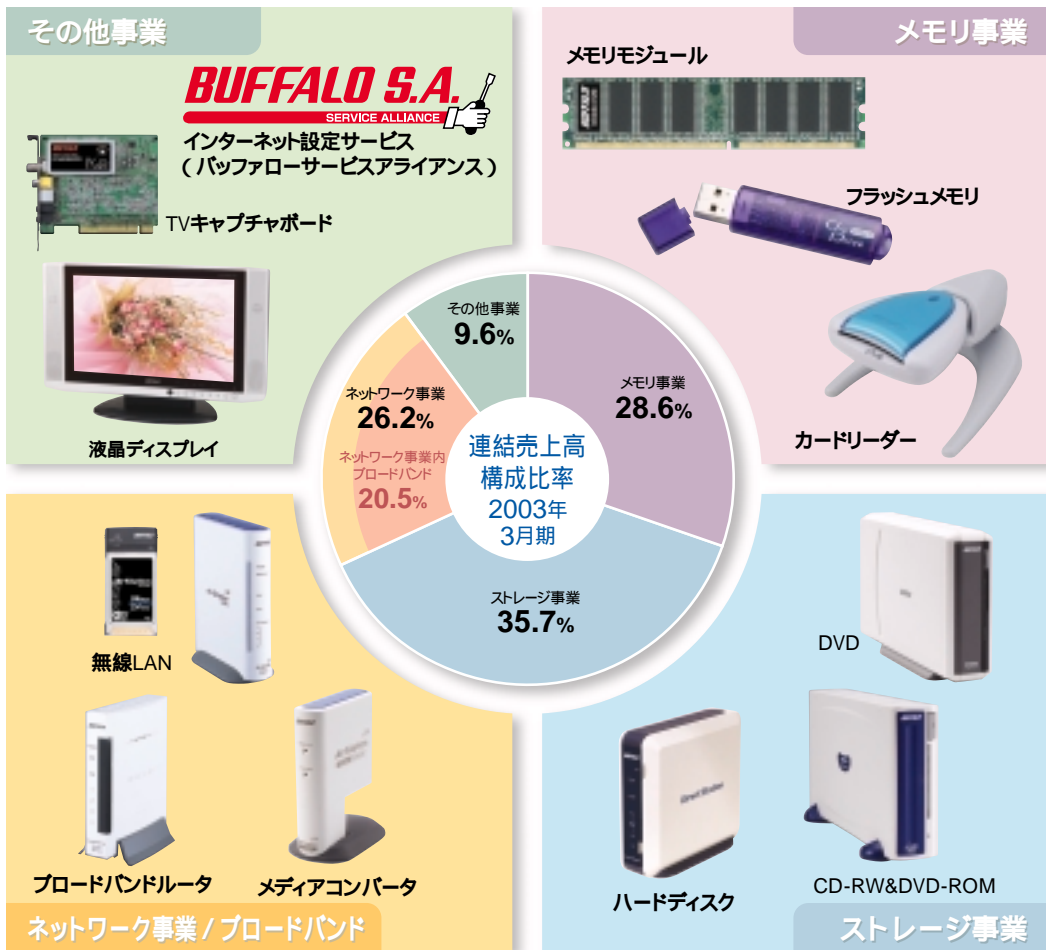
最多数シェアNo.1に挑戦し続ける  
実売統計2003年上半期12部門でトップ

BCN社がまとめた2003年上半期のパソコン周辺機器実売統計「BCNランキング」において、バッファローは12部門でトップシェアを獲得しました。これはユーザーニーズに応える製品開発に注力するとともに、販売店や販社とのパートナーシップの賜物と信頼の証であると考えています。

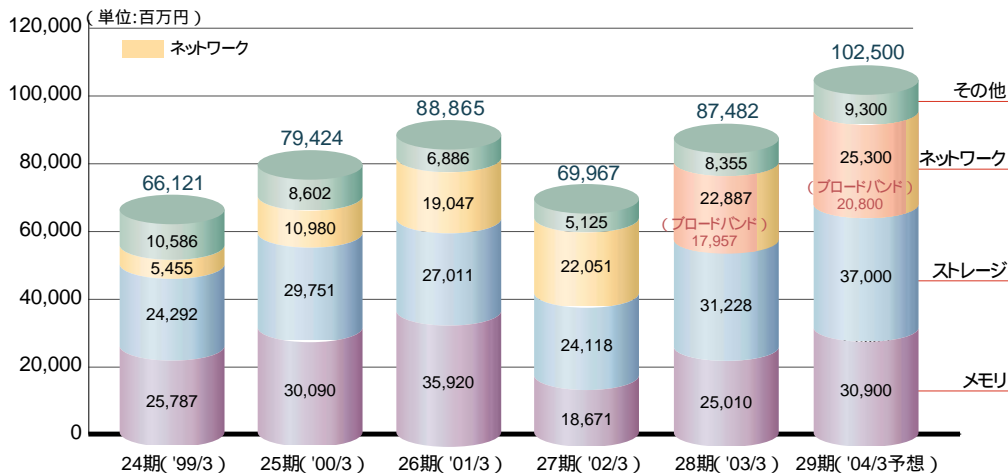
BCNランキングは東京・大阪・名古屋の大手量販店の実売データ集計による機種別シェアランキングです。バッファローは無線LAN、LANカード、ハブ、ルータ、プリントサーバ、外付ハードディスク、内蔵ハードディスク、CD-R/RW、拡張インターフェース、メモリメモ리카ード、カードリーダーの12部門でシェアNo.1を達成しました。メモリやストレージ関連製品が売上・利益共に好調に推移していることに加え、ブロードバンドの拡大によりネットワーク関連の新製品を次々と市場に投入した結果が、高いシェア獲得につながりました。バッファローは今後もさらに魅力的な製品群の投入により、常に市場をリードする業界No.1に挑戦し続けてまいります。



「インターネット、もっと使いやすく」をモットーに、誰もが使いやすい快適環境を提案します。

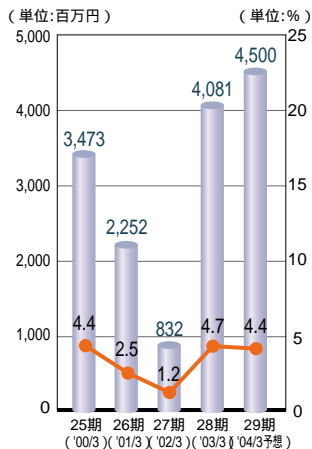


### ■ 連結売上高

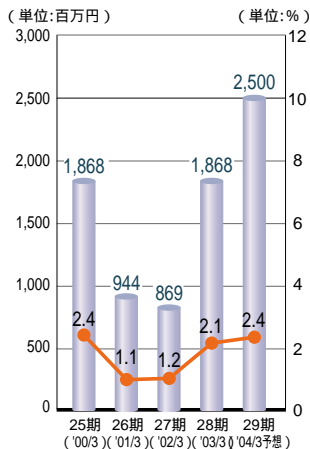


注) 2003年3月期よりネットワークの内、無線LAN等ブロードバンド関連製品を分けて、ブロードバンドとして算出しています。

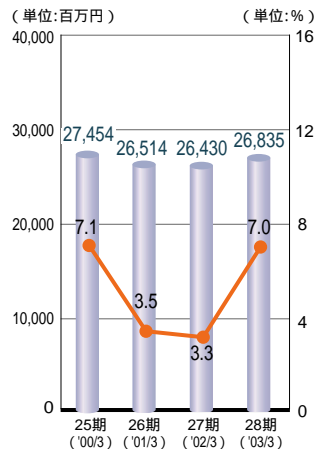
### ■ 連結経常利益と 連結売上高経常利益率



### ■ 連結当期純利益と 連結売上高当期純利益率



### ■ 連結株主資本と 連結株主資本当期純利益率 (ROE)



### ■中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期別 科目	当中間期 2003年9月30日現在	前中間期 2002年9月30日現在	前期 2003年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	31,150	26,122	30,744
固定資産	13,907	14,592	13,746
有形固定資産	2,980	2,674	2,717
無形固定資産	84	130	106
投資その他の資産	10,841	11,787	10,922
資産合計	45,057	40,715	44,490
(負債の部)			
流動負債	16,348	13,104	16,875
固定負債	799	729	780
負債合計	17,148	13,834	17,655
(資本の部)			
資本金	6,400	6,400	6,400
資本剰余金	6,344	7,593	7,593
利益剰余金	15,281	13,285	14,260
その他有価証券評価差額金	85	41	71
為替換算調整勘定	200	223	241
自己株式	1	215	1,249
資本合計	27,909	26,880	26,835
負債資本合計	45,057	40,715	44,490

### ■中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

期別 科目	当中間期 自2003年4月1日 至2003年9月30日	前中間期 自2002年4月1日 至2002年9月30日	前期 自2002年4月1日 至2003年3月31日
資本剰余金期首残高	7,593	7,593	7,593
自己株式消却額	1,249	-	-
資本剰余金中間期末(期末)残高	6,344	7,593	7,593
利益剰余金期首残高	14,260	12,741	12,741
中間(当期)純利益	1,253	705	1,868
利益剰余金減少高	232	161	348
利益剰余金中間期末(期末)残高	15,281	13,285	14,260

### ■中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期別 科目	当中間期 自2003年4月1日 至2003年9月30日	前中間期 自2002年4月1日 至2002年9月30日	前期 自2002年4月1日 至2003年3月31日
売上高	50,313	39,089	87,482
売上原価	44,194	34,155	75,857
販売費及び一般管理費	4,161	3,617	7,694
営業利益	1,957	1,316	3,931
営業外収益	94	171	243
営業外費用	32	152	92
経常利益	2,019	1,336	4,081
特別利益	14	167	173
特別損失	64	146	581
税金等調整前中間(当期)純利益	1,969	1,357	3,673
法人税、住民税及び事業税	698	767	1,375
法人税等調整額	17	114	429
中間(当期)純利益	1,253	705	1,868

### ■中間連結キャッシュ・フロー計算書

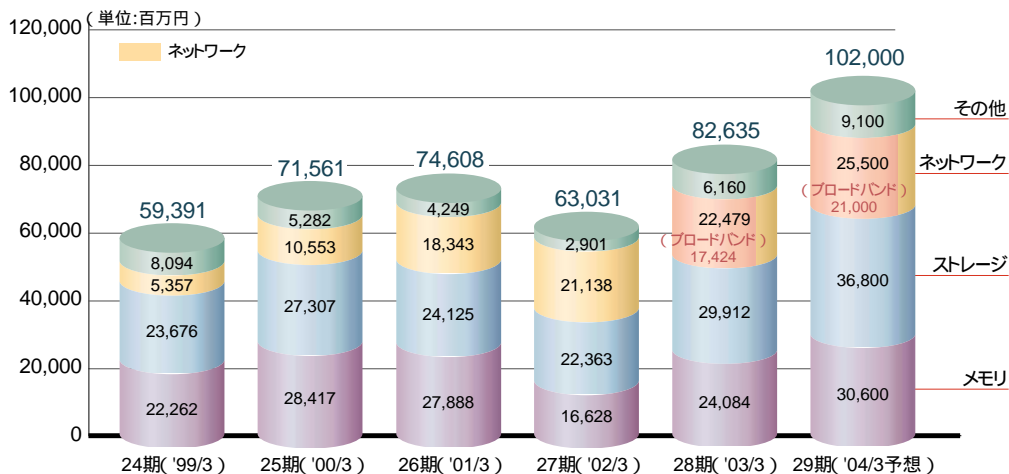
(単位:百万円)

期別 科目	当中間期 自2003年4月1日 至2003年9月30日	前中間期 自2002年4月1日 至2002年9月30日	前期 自2002年4月1日 至2003年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,188	7,411	6,513
投資活動によるキャッシュ・フロー	252	819	1,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	185	134	1,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	57	67
現金及び現金同等物の増減額	778	6,669	3,715
現金及び現金同等物の期首残高	5,746	2,030	2,030
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	6,524	8,700	5,746

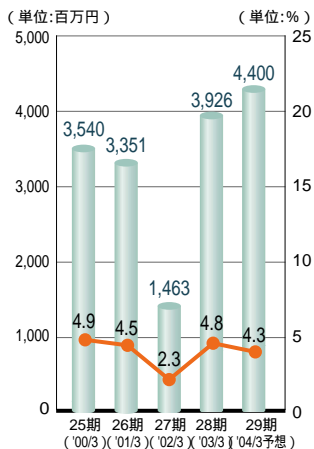
注) 株式会社バッファロー(旧社名 メルコ)の2003年9月中間期の連結財務情報です。



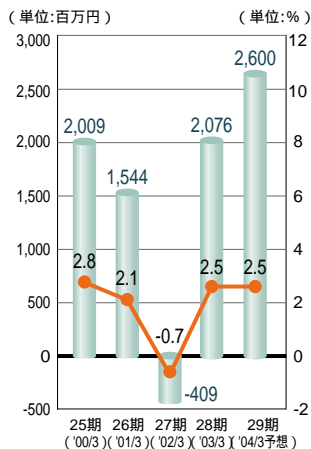
### ■売上高



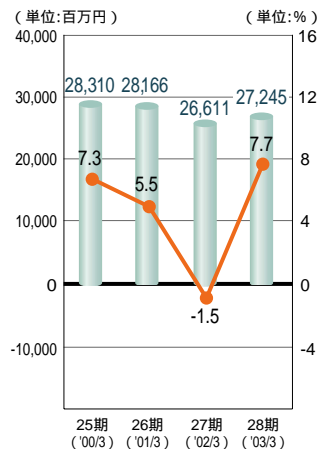
### ■経常利益と売上高経常利益率



### ■当期純利益と売上高当期純利益率



### ■株主資本と株主資本当期純利益率(ROE)



### ■中間貸借対照表

(単位:百万円)

期別 科目	当中間期	前中間期	前期
	2003年9月30日現在	2002年9月30日現在	2003年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	39,421	35,501	39,548
固定資産	5,133	5,231	4,622
有形固定資産	1,964	1,972	1,980
無形固定資産	67	113	90
投資その他の資産	3,101	3,145	2,552
資産合計	44,554	40,732	44,170
(負債の部)			
流動負債	15,444	12,876	16,227
固定負債	758	684	697
負債合計	16,202	13,561	16,925
(資本の部)			
資本金	6,400	6,400	6,400
資本剰余金	6,344	7,593	7,593
利益剰余金	15,525	13,351	14,490
その他有価証券評価差額金	84	41	10
自己株式	1	215	1,249
資本合計	28,352	27,171	27,245
負債資本合計	44,554	40,732	44,170

### ■中間損益計算書

(単位:百万円)

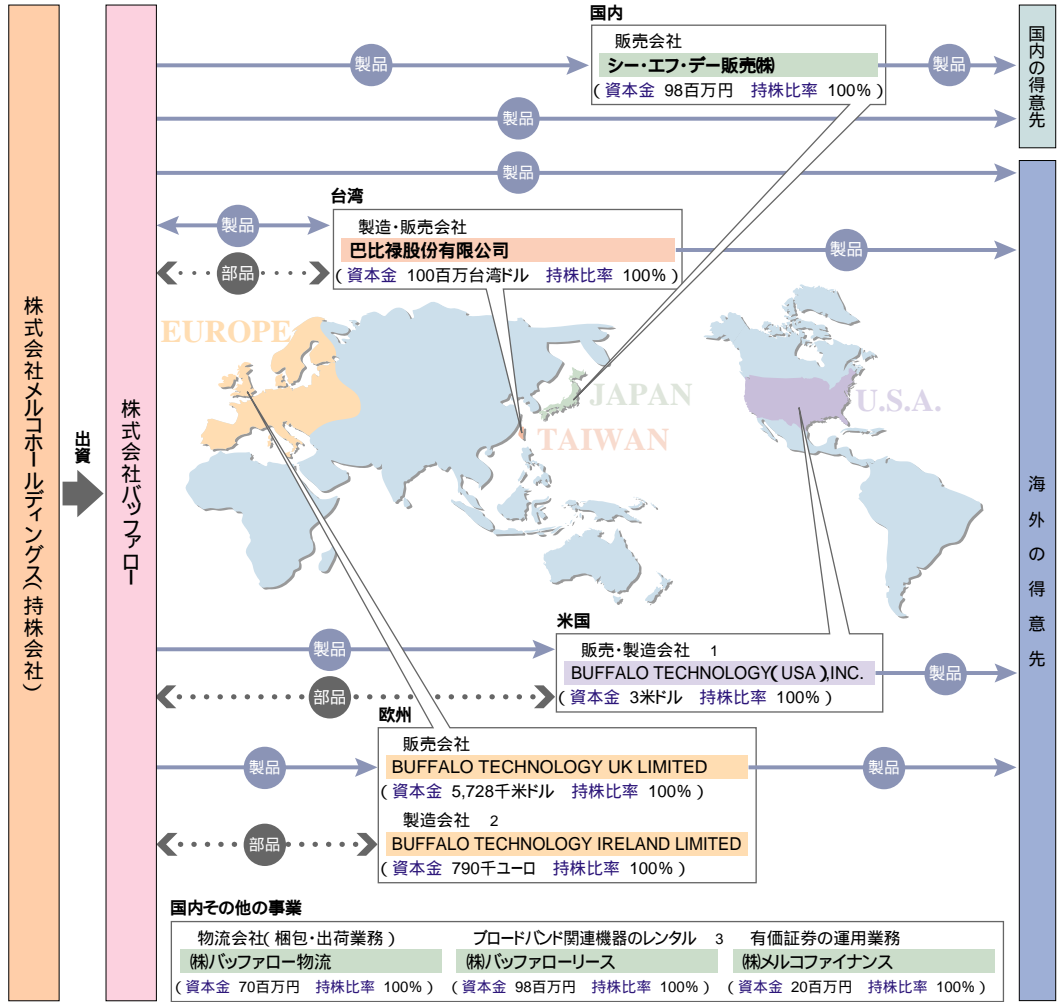
期別 科目	当中間期	前中間期	前期
	自2003年4月1日 至2003年9月30日	自2002年4月1日 至2002年9月30日	自2002年4月1日 至2003年3月31日
売上高	49,790	35,840	82,635
売上原価	44,497	31,451	72,266
販売費及び一般管理費	3,476	2,985	6,527
営業利益	1,816	1,403	3,841
営業外収益	132	70	155
営業外費用	25	76	70
経常利益	1,923	1,396	3,926
特別利益	11	133	135
特別損失	63	143	254
税引前中間(当期)純利益	1,871	1,386	3,808
法人税、住民税及び事業税	608	746	1,317
法人税等調整額	4	110	415
中間(当期)純利益	1,267	750	2,076
前期繰越利益	14,257	11,001	11,001
利益準備金取崩額	-	1,600	1,600
中間配当額	-	-	186
中間(当期)未処分利益	15,525	13,351	14,490

# Group Companies

メルコグループ系統図

## メルコグループ系統図 (連結子会社)

株式会社メルコホールディングスと株式会社バッファロー(旧社名メルコ)は、2003年10月1日に株式交換により株式会社バッファローを100%子会社とする持株会社体制に移行しました。



- 2002年10月30日付にてBUFFALO TECHNOLOGY(USA),INC.は資本金の内5,997米ドルを資本剰余金に振替え、資本金は3米ドルとなりました。2002年9月18日付にて増資を行い、BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITEDの資本金は338千ユーロ増加しました。
- また、アイルランドのユーロ導入に伴い表示通貨をユーロに変更しております。2003年3月12日付にて株式会社メルコテクノスクールは商号と事業目的を変更し、株式会社バッファローリースとなりました。
- 2003年3月25日付にて増資を行い、株式会社バッファローリースの資本金は78百万円増加しました。

沿 革		事 業 / 他	
音響機器製品の製造・販売を目的としてメルコを設立	8月	1978	8月 系ドライブプレイヤーを発売
		<b>1980</b>	
		1981	7月 パソコン周辺機器市場へ本格参入
		1982	11月 プリント内蔵型のプリンタバッファを発売
名古屋市天白区に(有)バッファロー(現(株)メルコホールディングス)を設立	7月	1986	
		1988	10月 わが国初のEMSポートを発売
		<b>1990</b>	
梱包・物流業務を独立し、(株)バッファロー物流を設立	9月	1991	
(株)メルコ(現(株)バッファロー)が日本証券業協会へ店頭登録	10月		
(株)メルコが(株)メルコインターナショナル(現(株)バッファローリース)を設立	10月		
(株)メルコが名古屋市南区に技術開発拠点として	1月	1992	7月 CPUアクセラレータを発売
ハイテクセンター(現(株)バッファロー本社)を開設			8月 LANを発売
台湾連絡事務所を現地法人化し、巴比祿股份有限公司を設立	6月		
		1993	5月 ウィンドウ・アクセラレータを発売 マルチメディア分野へ本格参入
		1994	10月 PCBテクノロジシー・アワードで最優秀賞を受賞 2月 ハードディスクを発売/パソコン周辺機器の総合メーカーへ
		<b>1995</b>	
(株)メルコが名古屋証券取引所市場第二部に株式を上場	1月	1995	9月 (株)メルコが品質保証の国際規格ISO9001の認証を取得
(株)メルコが東京証券取引所市場第二部に株式を上場	8月		11月 DOS/Windows/ネットワーク/ハードウェアを発売 パソコンコンピュータメーカーへ
(株)メルコが東京証券取引所、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場	9月	1996	10月 液晶ディスプレイを発売
(株)メルコが近畿システムサービス(株)〔現シー・エフ・デー販売(株)〕を子会社化	10月		
(株)メルコが事業部制を導入	10月	1997	
(株)メルコがTechWorks(Delaware)Inc.を子会社化	1月	1998	
(現BUFFALO TECHNOLOGY(USA),INC.)を子会社化			
(株)メルコがTechWorks(UK)Limited	12月		
(現BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED)を子会社化			
(株)メルコがTechWorks(Ireland)Limited			
(現BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED)を子会社化			
(有)バッファローが株式会社に組織変更	10月	1999	1月 無線LAN市場に参入 「AIRCONNECT」を発売 11月 Rambus対応メモリを発売 4月 無線LAN「AirStation」を発売 10月 DDR対応ノートパソコン用メモリの世界標準規格を開発
		<b>2000</b>	
(株)メルコがサービス組織バッファローサービスアライアンスを結成	1月	2001	1月 インターネットのサービス事業を開始
リユース事業の合併会社デジタルリユース(株)を設立	3月		1月 (株)メルコが環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得
		<b>2002</b>	
販売会社オーブルネット(株)を設立	5月	2002	7月 インターネット無線スポットサービスを推進する「FREESPOT」を開始 12月 LAN接続ハードディスク「LinkStation」を発売
		<b>2003</b>	
レンタル会社として(株)バッファローリースを設立	3月	2003	3月 プロード/ハード関連機器のレンタル事業開始
(株)バッファローが(株)メルコホールディングスに商号変更、名古屋市中区に本店を移転	5月		8月 無線LAN「AirStation」が累計出荷300万台を達成
(株)メルコが(株)バッファローに社名変更、名古屋市南区に本店を移転	10月		
(株)メルコホールディングスと(株)バッファローが株式交換、持株会社体制に移行	10月		
(株)メルコホールディングスが東京証券取引所、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場			

### 株式会社メルコホールディングス

会社概要(2003年10月1日現在)

商号	株式会社メルコホールディングス(持株会社)
英文社名	MELCO HOLDINGS INC.
本社所在地	愛知県名古屋市中区大須四丁目11番50号
設立	1986年(昭和61年)7月1日
代表者	代表取締役社長 牧 誠
資本金	10億円
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 パソコン及びブロードバンド関連機器・サービスの 製造及び販売等を行う子会社の経営管理等
従業員数	10名 メルコグループ連結 / 641名
グループ企業	連結子会社数9社(国内5社、海外4社)
取引銀行	UFJ、名古屋
URL	<a href="http://melco-hd.jp/">http://melco-hd.jp/</a>

役員(2003年10月16日現在)

代表取締役社長	牧 誠
専務取締役	斉木 邦明
取締役	牧 博道
取締役	豊岡 誠史
取締役	西岡 孝行
取締役	山口 英利
取締役	牧 廣美
常勤監査役	上田 洋三
監査役	西川 俊男
監査役	川島 讓
監査役	津坂 巖

### 株式会社バッファロー

会社概要(2003年10月1日現在)

商号	株式会社バッファロー
英文社名	BUFFALO INC.
本社所在地	愛知県名古屋南区柴田本通四丁目15番
創業	1975年(昭和50年)5月1日
設立	1978年(昭和53年)8月5日
代表者	代表取締役社長 牧 誠
資本金	64億円
売上高	826億35百万円(2003年3月期実績)
事業内容	パソコン及びブロードバンド関連機器の 開発・製造・販売及び関連サービスの提供
従業員数	385名
取引銀行	UFJ、名古屋、伊予、東京三菱、UFJ信託
URL	<a href="http://buffalo.jp/">http://buffalo.jp/</a>

役員(2003年10月1日現在)

代表取締役社長	牧 誠
専務取締役	斉木 邦明
取締役	牧 博道
取締役	豊岡 誠史
取締役	西岡 孝行
取締役	山口 英利
取締役	牧 廣美
常勤監査役	小林 清史
監査役	西川 俊男
監査役	川島 讓
監査役	津坂 巖





## メルコグループ

<http://melco-hd.jp/>

---

株式会社メルコホールディングスと株式会社バッファローは、2003年10月1日に株式交換により株式会社バッファローを100%子会社とする持株会社体制に移行しました。また、同時に株式会社メルコは株式会社バッファローに社名変更しております。  
表紙右下の赤い製品は、社名変更記念キャンペーンの特別モデルです。

---

株式会社 **メルコホールディングス** <http://melco-hd.jp/> (証券コード 6676)

本 社 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号(カミヤビル) TEL(052)251-6891代 FAX(052)241-7979

株式会社 **バッファロー**(旧社名 **株式会社メルコ**) <http://buffalo.jp/>

本 社 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通四丁目15番 TEL(052)619-1811代 FAX(052)619-1800  
東 京 本 社 〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目2番5号(栄太楼ビル) TEL(03)3242-7777代 FAX(03)5203-8551  
本 社 分 室 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号(カミヤビル) TEL(052)251-6891代 FAX(052)241-7979  
名 古 屋 支 店 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号(カミヤビル) TEL(052)249-6600代 FAX(052)249-6601  
大 阪 支 店 〒542-0012 大阪市中央区谷町九丁目1番18号(住友生命谷町ビル) TEL(06)6191-1511代 FAX(06)6191-1510  
仙 台 営 業 所 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡四丁目5番22号(宮城野センタービル) TEL(022)291-0311代 FAX(022)298-9470  
福 岡 営 業 所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東三丁目12番1号(アバンダント95) TEL(092)477-3711代 FAX(092)477-3755  
札 幌 営 業 所 〒060-0031 札幌市中央区北一条東一丁目4番1号(サン経成ビル) TEL(011)200-8150代 FAX(011)200-8151